＜様式１＞　管理運営状況評価書　　：選択　　：自動計算のため入力不要

【対象年度：令和7年度】　　（　④ 社会体育施設　）

Ⅰ　施設概要・利用情報　　（単位：人、%、円、日）

施　設　名	東遠カルチャーパーク総合体育館	担当課名	文化・スポーツ振興課	担当係	スポーツ振興係

区　分		内　容　・説　明
1 施設及び指定管理者の状況	(1) 設置条例名	掛川市スポーツ施設条例
	(2) 施設設置目的	スポーツの振興を図るとともに、市民（東遠圏域）の健康及び体力を増進させるため
	(3) 施設が有する設備・機能の概要	アリーナ（66m×37m）、観客席（1,008席）、車椅子席（40席）、武道場（33m×20m）、弓道場（遠的3人立、近的9人立）、研修室（72人収容）、プール（25m×6コース）、トレーニング室、スタジオ、ランニング・ウォーキングコース（1週230m）、託児室、駐車場（最大480台）
	(4) 施設建設年度	平成15年度
	(5) 耐震性能	あり　（耐震性能）　Ⅰａ
	(6) 将来予想される改修経費（想定年度と費用の見込）	アリーナ排煙設備改修工事（R8 20,163千円）
	(7) 指定管理者名	掛川市体協・ミズノ・鹿島建物協働体
	(8) 指定期間	平成29年　４月１日から　令和９年　３月31日まで
	(9) 債務負担行為設定の有無	☑ 設定あり　☐ 設定なし　※　設定ありの場合：期間　平成28年度　～　令和8年度　限度額：　12施設計　1,723,534千円
	(10)施設の管理運営形態	③ 指定管理料＋利用料金併用制度
	(11)自主事業の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※　実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。
	(12)その他事業の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※　実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。
	(13)事業報告書提出の有無	☑ 提出あり　☐ 提出なし　※　地方自治法第244条の２第７項による提出義務
	(14)利用者満足度調査等の実施の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※　「実施あり」の場合、直近の実施年度：　令和７年度

区　分				R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
2 利用状況	(1) 施設利用者数	（目標値）		330,440	330,440	330,440	330,440	※　協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		（実績値）		284,100	301,468	317,694		
	内訳（施設・設備ごと）	①トレーニングルーム		40,953	50,823	55,636		
		②スタジオ		27,985	25,710	27,784		
		③プール		74,997	76,213	77,754		
		④アリーナ		66,917	71,854	75,153		
		⑤弓道場		5,559	6,148	6,603		
		⑥武道場		26,690	28,369	28,810		
		⑦研修室		15,460	17,941	20,473		
		⑧その他（託児等）		25,539	24,410	25,481		
	(2) 施設稼働率（利用率）			R05実績	R06実績	R07実績		↓備考欄に算定式を記入してください↓
	（施設・整備ごと）	①トレーニングルーム（定員46人）	A	平日昼間	63.5%	72.3%	60.1%	
			B	平日夜間	58.3%	57.3%	58.1%	
			C	土日祝昼間	48.9%	57.3%	95.4%	
			D	土日祝夜間	24.6%	21.6%	25.5%	
		②スタジオ（定員30人）	A	平日昼間	86.9%	83.9%	73.8%	
			B	平日夜間	89.7%	91.3%	86.1%	
			C	土日祝昼間	69.2%	68.1%	66.9%	
			D	土日祝夜間	87.4%	81.3%	82.9%	
		③プール（定員35人）	A	平日昼間	164.1%	164.3%	151.3%	
			B	平日夜間	20.4%	21.3%	21.7%	
			C	土日祝昼間	82.8%	90.8%	93.3%	
			D	土日祝夜間	18.2%	17.5%	15.7%	
		④アリーナ（定員36人）	A	平日昼間	70.0%	69.2%	65.3%	
			B	平日夜間	89.4%	94.1%	87.9%	
			C	土日祝昼間	89.7%	90.7%	89.2%	
			D	土日祝夜間	86.1%	88.9%	87.6%	
		⑤弓道場（定員37人）	A	平日昼間	150.8%	134.9%	144.9%	
			B	平日夜間				
			C	土日祝昼間				
			D	土日祝夜間				

2 利用状況	（施設・整備ごと）	⑥武道場	A	平日昼間	72.4%	73.8%	64.6%		
			B	平日夜間	86.1%	81.1%	77.4%		
			C	土日祝昼間	74.7%	71.6%	68.9%		
		（定員38人）	D	土日祝夜間	82.3%	70.0%	68.2%		
			A	平日昼間					
			B	平日夜間					
			C	土日祝昼間					
			D	土日祝夜間					

区　分				R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
3 管理運営状況	(1) 指定管理者名							※ 1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2) 利用者1人当たりの運営経費			197	190	165		
	(3) 運営日数			308	308	309	312	
	(4) 運営人員	① 正規職員		14.0	12.0	12.0	12.0	※ 指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		② 臨時職員		32.0	31.0	31.0	31.0	

Ⅱ　施設管理に係るコスト情報

（単位：円、%）

区　分		R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
(1) 運営コスト（A）	① 人件費	39,602,549	41,976,259	37,250,908	45,500,000	
	② 印刷費	242,314	244,787	180,033	250,000	
	③ 通信費	646,772	549,180	517,757	540,000	
	④ 事務用品・旅費・図書費等	362,471	443,601	652,440	450,000	
	⑤ 借上料	4,885,536	3,939,839	3,677,580	3,330,000	
	⑥ 保険料・消費税(租税公課)等	4,689,856	4,690,307	4,905,083	4,910,000	
	⑦ その他(支払手数料・広告宣伝費・一般管理費・雑費)	5,547,106	5,485,929	5,188,576	5,200,000	
	小　計	55,976,604	57,329,902	52,372,377	60,180,000	
	対前年度増減率		2.4%	−8.6%	14.9%	
区　分		R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
(2) 施設コスト（B）	① 管理委託費（外注費）	52,687,316	52,003,182	52,390,603	52,480,000	
	建物管理委託	19,437,000	19,437,000	19,437,000	19,437,000	
	プール・トレーニング室運営費	26,251,495	26,251,495	26,251,495	26,251,495	
	トレーニング機器保守委託	243,430	243,430	686,950	243,430	
	弓道場保守委託	360,000	360,000	355,455	355,455	
	プール水質管理委託	680,680	680,680	680,680	680,680	
	プール可動床保守点検	798,600	798,600	866,800	866,800	
	その他	4,916,111	4,231,977	4,112,223	4,645,140	
	② 修繕費	721,564	1,308,307	2,241,403	950,000	
	③ 光熱水費	42,330,207	44,097,436	44,120,938	42,220,000	
	④ 燃料費	68,526	61,534	49,750	120,000	
	⑤ 清掃費	0	0	0	0	
	⑥ 保守点検費	0	0	0	0	
	⑦ その他（施設消耗品等）	83,883,926	85,644,531	87,622,229	85,147,000	
	小　計	179,691,539	183,114,990	186,424,923	180,917,000	
	対前年度増減率		1.9%	1.8%	−3.0%	
(3) トータルコスト（施設管理費の計）（A）＋（B）		235,668,143	240,444,892	238,797,300	241,097,000	
(4) トータルコストのうち、運営コストの割合		23.8%	23.8%	21.9%	25.0%	
(5) 施設の収入　※次頁に入力する		32,071,360	31,762,995	35,865,800		
(6) 運営コストのうち、利用料収入の割合		57.3%	55.4%	68.5%		

Ⅲ　収支差額の状況

(1) 指定管理料のみで運営している施設　　注：【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

区　分	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
(a) 施設使用料収入				※ 施設利用料金は、掛川市に収入される
(b) 指定管理料				
収支差額　(a)－(b)	0	0	0	

(2) 利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設　　（単位：円）

区　分	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
(a) 施設使用料収入	32,071,360	31,762,995	35,865,800	※ 施設利用料金は、指定管理者へ収入される
(b) 収支差額 【 (a)－トータルコスト】	−203,596,783	−208,681,897	−202,931,500	
(c) (b)に対する市の支出額（＝指定管理料）	78,595,000	83,410,999	84,321,000	

(3) 自主事業及びその他事業の状況

区　分	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
(a) 自主事業の収入	118,109,888	116,908,535	122,606,669	
(b) 自主事業の支出	80,757,789	80,205,113	83,081,247	
収支差額　(a)－(b)	37,352,099	36,703,422	39,525,422	
(c) その他事業の収入	6,634,899	0	5,400,000	光熱費高騰対策支援金ほか
(d) その他事業の支出	0	0	0	
収支差額　(c)－(d)	6,634,899	0	5,400,000	

【単年度収支】

	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
単年度収支	−81,014,785	−88,567,476	−73,685,078	(利用料金＋指定管理料＋自主事業収支＋その他事業収支)－ トータルコスト
対前年度増減率		9.3%	−16.8%	

Ⅳ　担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	設置目的を達成できている	3	
2	設置目的をほぼ達成できている		
1	設置目的を一部達成できていない		
0	設置目的を達成できていない		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度　＜達成：3点　8割達成：2点　6割達成：1点　6割以下の達成度：0点＞

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
A　施設全体の満足度	90%以上	92.9%	3	・幅広い利用者層へのサービス展開を行い、市民の健康づくりやスポーツ活動への参加に貢献する施設運営を目指す。 ・利便性を向上させるサービスを実施する。
B　サービス内容の満足度	90%以上	95.5%	3	・より利用しやすい施設となるよう、需要に合わせて既存プログラムの見直しやイベント等を企画する。 ・自主事業のさらなる充実や周知を図り、幅広い利用者層を取り込むとともにリピーターの増加を図る。
C　従業員応対の満足度	90%以上	97.7%	3	・引き続き接遇研修を実施し、従業員の資質向上に努める。
D　施設安全対策の満足度	90%以上	95.8%	3	・安全対策に関する職員の知識の向上 ・ヒヤリハット事例の蓄積、災害対策マニュアル等の周知や防災訓練の実施
E　美感・清潔感の満足度	90%以上	91.9%	3	・引き続き清掃マニュアルに基づく清掃点検を徹底し、日常清掃点検を強化する。 ・プールや脱衣所、シャワーなど水回りの衛生環境については特に注意する。
F　施設の利用者数	330,440人	317,694人	2	・施設利用者数の増加。 ・幅広い利用者層へのサービス展開を行い、既存プログラムを見直すなどし、施設の利用者数の目標を達成する。 ・自主事業のさらなる充実や周知を図り、リピーターの増加を狙う。

(3) 収支の改善状況　※収支差額が赤字は0点、収支差額が黒字は1点から3点とする。

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	前年度より収支状況が向上している	0	・収支バランスの改善 ・プールやトレーニングジムなど維持費のかかる設備を有しており、収支が赤字となっている。
2	前年度と同等の収支状況となっている		
1	前年度より収支状況が縮小している		
0	収支差額が赤字になっている		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	3	
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設（事業）の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 （施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討）	2	・民間事業者でも実施可能であるが、持続可能なスポーツ環境を確保するため行政の一定の関与が必要である。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 （直営化、一定額指定管理料制度など）		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 （独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など）		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 （直営化など）		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	・収支バランスの改善 ・施設の安全対策や利便性向上、休館日の営業解放など利用者のニーズを把握し、収支バランスの取れた経営に努める。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

27 ／ 33

Ⅴ その他自由意見